

事業者自己評価（放課後等デイサービス あぶれんどもじ）

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫点など
環境・体制整備	①	設備は利用定員に応じて適切であるか	○			子ども1人あたり4㎡以上の床面積を確保、静養や相談室、個別療育のためのスペースも設けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			理学療法士や作業療法士などのセラピスト、保育士、障害福祉サービス経験者を常時3人以上配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入り口前のスロープ、車いす用トイレ、段差のないフラットなスペース等、身体障害児の利用にも対応できる設備を完備しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			個別支援会議に加えて、業務前の準備、業務後の振り返り等での話し合いを行い、業務改善に努めています。
	⑤	アンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し、業務改善につなげているか		○		支援に対するニーズ聴取は、電話連絡や送迎時、面談にて直接確認を行い、職員間で共有しています。アンケート配布は今後検討していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			ホームページ上にて年度末に公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	利用児童ご家族や外部連携機関の方の意見は頂いております。業務に反映が不十分な点があるので、改善に努めます
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		研修の機会は設けてはいますが、十分とは言えない。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	○			保護者へのアンケート調査や、送迎時の情報収集を行ったうえで、その内容を反映させた計画の立案を行っています。
	⑩	子どもの発達課題に沿った療育（個別リハビリを含む）が提供されているか	○			常に療育の中での観察を通じて評価を行い、課題に沿った訓練の立案・提供を行っています。また、児童の成長過程や課題を日々の連絡帳に記載しています。
	⑪	子どもの持つリスク（身体的、精神的）に十分に配慮した個別療育が行えているか	○			リスクマネジメントを十分に行ったうえで療育の提供を行っています。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			集団・個別療育職員間で、利用児童にとって適切な活動内容を話し合い、立案を行っています。
	⑬	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか		○		評価の良い活動になりやすい。児童にチャレンジしてもらえくらしい活動も必要。
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			今年度も感染対策に留意したうえで、テラスや公園等での外遊びを実施しました。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	○			計画立案時から個別・集団療育の整合性をもたせつつ、日々の子どもの様子に合わせて活動提供の方法を調整しています。
	⑯	支援開始前・終了後に職員間で打ち合わせを行い、支援内容の確認や振り返り内容を職員間で共有しているか	○			支援開始時・終了後に、その日のスケジュールの確認と日々の振り返りを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別・集団療育経過記録を用いて日々の支援内容の検証・改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に1度のモニタリング、個別支援計画作成のほか、必要に応じて個別支援会議を実施し、支援の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			個別・集団療育ともに、多彩なプログラムを準備し、ニーズやデマンドに応じた日常生活・コミュニケーション能力、社会性の向上に注力しています。

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			児童発達管理責任者や、子どもの状況をよく把握している職員が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者、学校との連携を図り、こまめに情報共有、連絡調整を行っています。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援・放課後等デイサービスを併設しており、継続して利用して頂いている児童が多く、綿密な情報共有を行える状況にあります。
	㉓	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	必要に応じては連携していますが、時間はまだ足りていないようにも感じます。積極的に連携したいと思います。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に、時間の許す限りコミュニケーションをとっています。また、必要に応じて関係機関との会議を行っています。
	㉕	保護者に対する支援（ペアレントトレーニング等）を行っているか				保護者との時間を取った面談形式の場が少ない。今後は面談の場を増やしたい。
保護者への説明責任等	㉖	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や保護者からの質問があった際は丁寧な説明を心がけており、その都度ご理解をいただいています。
	㉗	保護者からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際や送迎時などに必要な助言や支援を行っています。
	㉘	保護者会の開催等、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、ご希望に応じて保護者会の開催などを検討していきます。
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付・解決担当者を配置し、その都度迅速に対応を行っています。また、アセスメントシートを作成し、内容を全職員が閲覧できるようにしています。
	㉚	定期的なホームページ更新等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人ホームページを定期的に更新し、活動概要などの発信を行っています。
	㉛	個人情報に十分注意しているか	○			施錠できるロッカーにて厳重に管理しています。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて送迎時の保護者への対応、面談等の時間を設けています。
	㉝	地域に開かれた事業所運営を行っているか		○		今後、地域資源の積極的な活用等を図っていきます。
非常時等の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルを作成していますが、今後は保護者への周知を行います。
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に訓練を実施し、法人ホームページにて概要の報告を行っています。
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的な虐待防止研修を行い、全職員への周知に努めています。
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○			事前に拘束の状況などを予測した上で、保護者様に同意をいただいています。拘束の必要が生じた場合は、記録を残し、拘束解除に向けた取り組みを行っています。
	㊳	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様からの聞き取りによる対応が主となりますが、必要に応じて主治医からの指示書をいただき、職員への周知を行っています。
	㊴	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故報告書をファイリングして、いつでも閲覧できるようにしています。